

# 令和4年度保々中学校 学校アンケート結果と考察

内容	設問 ※ 設問に対する回答は、4（そう思う）、3（だいたいそう思う）、2（あまりそう思わない）、1（そう思わない）の4段階で評価	平均評価	4（そう思う）と3（だいたいそう思う）の評価の割合（%）				考 察
			1年生	2年生	3年生	全体	
確かな学力	生徒 学校の授業はわかりやすい。	3.3	100	95.9	83.7	93.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の評価の「学校の授業はわかりやすい」「授業で学習したことは、将来の役に立つ」ともに学年が進むにつれて少しずつ評価は下がっているものの、例年同様、全体として9割以上の生徒が肯定的な評価をしています。</li> <li>保護者の評価は79.4%から84.2%へ上がりました。学年ごとに見ると生徒と逆に学年が進むにつれて評価が上がっています。</li> <li>生徒の評価は学年が進むにつれて学習内容が難しくなり、例年上記のような傾向にあります。「わかりにくい」と感じる生徒、学力がなかなか定着しない生徒への手立ても含め、継続して授業改善に努めていく必要があります。今後ともこれまで同様、わかりやすい授業をめざして授業改善の取り組みを進め、学習の意義や必要性等についても生徒たちに考える機会をつくっていきたくと考えています。</li> </ul>
	生徒 授業で学習したことは、将来の役に立つと思う。	3.4	98.2	89.8	83.7	91.0	
	保護者 お子さんは、学校の指導を通して中学生として必要な学力を身につけてきていると思う。	3.1				84.2	
	教師 学校は、生徒の学力の向上を目指して適切な指導を行い、成果をあげている。	3.4				100	
学習評価	生徒 先生の評価によって、勉強についての自分の長所や課題がわかったり、やる気が出たりする。	3.4	91.2	93.9	95.9	93.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価においては「生徒の自己学習力の向上」「外部への説明責任」「教師による指導と評価の一体化」が大切と考えています。このうち「自己学習力の向上」にあたる生徒の評価は昨年度の88.2%から93.5%へ上がり、「説明責任」にあたる保護者の評価は94.3%から89.5%へ下がりました。一方、「指導と評価の一体化」にあたる教師の評価は94.4%から100%へ上がりました。</li> <li>昨年度から学習指導要領が新しくなり、学校では評価のあり方について研修を積んできていることから教師の評価はこのようになったと考えられます。しかし、生徒や保護者の実態からは、まだまだ新しい学習指導要領や3つの評価についての理解がしっかりとされているとはいえず、難しい面も見られ、教師自身が生徒の実態を把握し、一層の教材研究、授業研究を進め、生徒のやる気を引き出し、生徒の「自己学習力」をつけていけるよう、「指導と評価の一体化」に取り組んでいきたくと考えています。</li> </ul>
	保護者 学校（先生）は、お子さんの学力や学習状況、努力の様子等について保護者に適切な説明を行っていると思う。	3.1				89.5	
	教師 学校は、評価結果をもとに、指導をやり直したり、教材を工夫したりするなど、指導と評価の一体化に取り組み、成果をあげている。	3.3				100	
キャリア教育	生徒 自分にはよいところがあると思う。	3.1	91.2	81.6	73.5	82.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分にはよいところがあると思う」「自分は、（まわりの人々から）自分の存在や思いが大切にされていると思う」「自分は、将来の夢や目標をもっている」はそれぞれ、74.5%から82.6%、85.6%から88.4%、73.2%から76.8%へ上がりました。また、学校づくりビジョンの指標としている「自分は、自分からあいさつしている」は93.5%から91.6%、「自分は、ていねいに掃除や身の回りの整理・整頓をしている」は85.6%から83.9%、「自分は、時間や期限を守り、授業を大切にしている」は93.5%から91.0%へ下がりました。</li> <li>保護者の評価は72.9%から65.8%へ下がりました。毎年、学年を追うごとに保護者の評価は上がっており、今年度も3年生は85%を超えていますが、逆に1年生保護者の評価は50%をきっています。</li> <li>教師の評価は83.3%から93.8%へ上がりました。</li> <li>今年度の全国学力・学習状況調査結果では全国平均が「よいところ」は78.5%、「将来の夢や目標」は67.4%からすると本校生徒は全国値を上回っていますが、他の評価項目の評価と比較すると、生徒評価「将来の夢や目標」の76.8%、保護者評価の65.8%が低い評価となっています。本校は長年、こども園や小学校、地域と連携し、「育ちのプログラム」をもとに合同研修会を開催し取り組みを進めています。学年に応じたキャリア教育に取り組んでいるものの、生徒への浸透や保護者への情報共有などで検討が必要と考えます。本校でここ数年推進してきている、キャリア教育の基盤となる「あいさつ」「掃除」「時間」の指導を今後も大切にし、常に見直しを図りながら、継続して取り組みを進めていきたくと考えています。</li> </ul>
	生徒 自分は、（まわりの人々から）自分の存在や思いが大切にされていると思う。	3.3	94.7	91.8	77.6	88.4	
	生徒 自分は、将来の夢や目標をもっている。	3.2	78.9	73.5	77.6	76.8	
	生徒 自分は、自分からあいさつしている。	3.4	91.2	91.8	91.8	91.6	
	生徒 自分は、ていねいに掃除や身の回りの整理・整頓をしている。	3.3	84.2	85.7	81.6	83.9	
	生徒 自分は、時間や期限を守り、授業を大切にしている。	3.4	93.0	91.8	87.8	91.0	
	保護者 お子さんは、学校の指導を通して将来の進路や今後の生き方について考えるようになってきていると思う。	2.7				65.8	
教師 学校は、『育ちのプログラム』と関連させた重点・目標数値を学校づくりビジョンに定めて重点的に取り組み、キャリア教育の成果をあげている。	3.2				93.8		
人権・道徳・特別支援教育	生徒 自分は、いじめや差別は絶対にいけないと思う。	3.9	100	100	95.9	98.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒評価の「いじめや差別は絶対にいけないと思う」は昨年度98.0%、今年度98.7%と、ここ数年継続して高い数値を示しており、本校生徒はいじめや差別に対してしっかりと捉えていると考えます。また、保護者の2つの評価は93.6%→97.4%、95.0%→92.1%、教師の評価も88.9%→93.8%と継続して高い評価となっています。</li> <li>一方、生徒評価の「学校へ行くのが楽しい」は85.6%から87.7%、上がったものの、昨年度課題であった現3年生が昨年度77.6%、今年度73.5%と低い数値となっており、課題が解消されていません。現3年生はコロナ禍により、3年間の中学校生活において多くの行事が中止や縮小となり、日々の活動や取り組みに目標やめあてをもちきれずいたり、さまざまな体験を経て増え粘り強さなどがつけきれなかったりすることが一因と考えられます。</li> <li>人権教育では、未熟な自分を自覚し、それを受け入れ、将来に向けて自分の課題を克服し強く生きていこうとする生き方を獲得していく教育です。そのためには授業や学校行事、部活動等のあらゆる場面で生徒たちが自分自身を見つめ、悩み、学ぶ機会をつくり、成長を促していく必要があると考えています。今後とも教師自身、生徒を一人の人間として認め、共に学ぶ姿勢でさまざまな人権課題について語り合い、人権教育を進めていきます。</li> </ul>
	生徒 自分は、学校へ行くのが楽しい。	3.4	96.5	91.8	73.5	87.7	
	保護者 お子さんは、学校の指導を通して中学生として必要な人権感覚や道徳性を身につけてきていると思う。	3.5				97.4	
	保護者 学校では、生徒ひとりひとりが、自分の力を発揮して学習や様々な活動に参加していると思う。	3.2				92.1	
	教師 学校は、生徒の人権感覚や道徳的心情、実践力を育てるために適切な指導を行い、成果をあげている。	3.2				93.8	

内容	設問 ※ 設問に対する回答は、4（そう思う）、3（だいたいそう思う）、2（あまりそう思わない）、1（そう思わない）の4段階で評価	平均評価	4（そう思う）と3（だいたいそう思う）の評価の割合（%）				考 察
			1年生	2年生	3年生	全体	
規律ある生活習慣・生徒指導	生徒 自分は、学校のルールやマナーを守って生活することを心がけている。	3.6	96.5	100	98.0	98.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の評価は昨年度97.4%から98.1%、保護者の評価は93.6%から94.7%へ上がりました。教師の評価は94.4%から93.8%でわずかに下がりましたが、どれも安定して高い評価となっています。</li> <li>今年度も学校全体が落ち着いており、生徒たちも安心して学校生活、家庭生活を送れていることが伺えます。さまざまな場面で生徒たちに向けて、将来、社会で生きてはたらく力をつけるために様々なことに挑戦することや、周りの生徒もそれを支え協力することの大切さや必要性を投げかけてきており、そのことが少しずつ生徒に浸透し、この結果に表れてきていると思われます。しかし、多くの生徒がルールやマナーをしっかり守って生活してはいるものの、まだまだ受身的に生活している現状があります。これまで大切にしてきている「あいさつ」「掃除」「時間」の取り組みを今後も継続し、生徒指導の面でもさらに成果が得られるよう取り組んでいきたいと考えています。</li> </ul>
	保護者 お子さんは、学校の指導を通して中学生として必要な生活習慣やルール・マナーを身につけてきていると思う。	3.5				94.7	
	教師 学校は、生徒の基本的な生活習慣の確立や規範意識・自立性の育成に向けて適切な指導を行い、成果をあげている。	3.4				93.8	
学校行事・学級活動	生徒 自分は、班・学級活動や生徒会・委員会活動、体育祭や文化祭などの学校行事に積極的に取り組んでいる。	3.6	96.5	93.9	91.8	94.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒評価が昨年度94.8%から94.2%、保護者評価が95.7%から94.7%、教師の評価も88.9%から100%とすべての評価で安定して高い評価となっています。今年度もコロナ禍によりいくつかの行事が縮小されています。生徒たちや保護者の皆さんへは、その都度、ていねいに説明し、だからこそそのことを前向きに受け止め、できる経験のチャンスを最大限に活かしていけるよう話してきました。結果、生徒たちの多くはさまざまな場面で挑戦し、前向きに活動しようとする姿を見せていることが高評価につながっていると考えています。</li> <li>高い評価ではあるものの、続くコロナ禍により、生徒たちに体育祭や文化祭、修学旅行や自然教室、職場体験学習（2日間に縮小）等の体験的な学習が十分にできていないことなどもあり、行事や体験活動等を通して培うべき力を十分に付けきれないという反省もあります。今後も、コロナ禍の中で、それぞれの活動の内容の精選と充実を進めつつ、生徒たちの気持ちも大切にしながら、自主性や主体性を育む指導を継続し、よりよい活動ができるよう取り組みを進めていきたいと考えています。</li> </ul>
	保護者 お子さんは、学級・生徒会活動や学校行事を通して友だちとの望ましい関係を深めたり、自主性、協力性、公共心などを身につけてきたりしていると思う。	3.3				94.7	
	教師 学校は、学級・生徒会活動、学校行事等を通して仲間づくりや生徒の自主性、協力性、公共心などを育成するために適切な指導を行い、成果をあげている。	3.5				100	
部活動	生徒 自分は、学校の部活動に積極的に参加している。	3.5	98.2	95.9	91.8	95.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒評価は昨年度94.8%から95.5%、保護者評価は91.4%から92.1%へとともに上がり、安定して高く評価されています。また今年度は教師の評価も83.3%から93.8%へ上がりました。多くの生徒が意欲的に部活動に取り組み、教師自身も一定充実感をもって活動でき、そのことを保護者からも支持いただいていると考えます。</li> <li>今年度はコロナ禍の中、運動部の大会等がほぼ通常通りに開催され、それぞれの部活動がめあてをもって毎日、活動できるようになっています。部活動については、令和5年度から土日の部活動を徐々に地域へ移行していくことが文部科学省から打ち出され、四日市市においても準備が進められてはいますが、まだ具体的な方向性は定まっていません。今後も、部活動のあり方を見直していく中で、学校として教員の業務分担の見直し等も行いつつ、充実した部活動運営に努めていきたいと考えています。</li> </ul>
	保護者 お子さんは、学校の部活動を通して自主性や協力性、責任感や連帯感、ねばり強さなどを身につけてきていると思う。	3.1				92.1	
	教師 学校は、部活動を通して自主性や協力性、責任感や連帯感、ねばり強さなどを育成するために適切な指導を行い、成果をあげている。	3.3				93.8	
教育相談	生徒 学校には、自分の気持ちや思いを聞いてくれたり、悩みや心配ごとなどを相談できたりする先生やカウンセラーさんがいるので安心できる。	3.2	93.0	93.9	65.3	84.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒評価は昨年度83.7%から84.5%へ上がり、保護者評価、教師の評価ともに、それぞれ92.1%、100%と変わらず高い評価でした。全体の評価に比べ、3年生は65%強と低い数値となりました。3年生については、卒業後の進路についての迷いや学力についての不安などからなかなか率直に相談できにくい状況もあり、例年1、2年生に比べると数値が低くなる傾向があります。現3年生は昨年度末に1、2年と持ち上がっていた先生の異動もあり、そのことも一因と考えています。</li> <li>個々に見ると「あまりそう思わない」「そう思わない」の割合が依然として16%近くあり、日常的にあらゆる場面で学年教師を中心に積極的に声かけをしたり、生徒との会話の機会を増やす努力をしたりしているもののさらに改善は必要と考えます。今後も生徒との信頼関係の構築を大切にしながら教育相談体制や相談のあり方等も検討し、少しでも生徒が相談しやすい状況をつくってきたいと考えています。</li> </ul>
	保護者 学校（先生）は、お子さんの思いや悩みなどを聞き取ったり、相談したりするしくみや雰囲気や適切に整えていると思う。	3.2				92.1	
	教師 学校は、生徒理解のために適切な教育相談を行い、成果をあげている。	3.6				100	
危機管理・安全な生活	生徒 自分は、病気やけが、災害や事故、犯罪の被害などにあわないようにするため、日頃から健康や安全に気をつけて学校生活を送っている。	3.5	96.5	95.9	87.8	93.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒評価は昨年度90.8%から93.5%、保護者評価は98.6%から94.7%、教師評価は83.3%から81.3%と、それぞれ上がり下がりはあるものの、安定的に高い数値となっています。これは、ここ数年、校内において大きな事故や危険な状況が起きていないことや、日常的に「安全」や「事故等が発生した際に生徒への対応や保護者への連絡等」を徹底していることをご理解いただいているのだと考えます。</li> <li>避難訓練を年3回実施することや月1回の校内安全点検が固定化し、本来の意味での実践に即した訓練や点検になりえていないとの教師自身の反省が教師の評価が少し低い一因であると考えます。</li> <li>今後も日常的な安全点検や危機管理をはじめ、防災教育の充実を図っていく必要があります。また、生徒に対しては、地域や家族の一員としての役割を果たす指導と合わせ、今年度少数であった各地区の自主防災訓練への中学生の参加を増やしていきたいと考えています。</li> </ul>
	保護者 学校（先生）は、健康で安全・安心な学校づくりに努めていると思う。	3.4				94.7	
	教師 学校は、生徒の健康で安全な生活のために、必要な組織や体制を整えるとともに適切な指導や訓練等を行い、成果をあげている。	3.3				81.3	
地域との連携	生徒 自分は、保々地区が好きだ。	3.5	98.2	95.9	87.8	94.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒評価は昨年度90.8%から94.2%、保護者評価は95.7%から92.1%、教師評価は100%で変わらず安定して高い数値を示しています。学校ホームページは毎日更新し、必要に応じてHome&amp;Schoolで情報を発信するなど、コロナ禍に関する情報や生徒たちの日常的な授業や活動の様子等を学校だよりや学年通信、ホームページ等でていねいに発信してきていることが、安定的な高評価につながっていると考えます。</li> <li>今年度も地域のほとんどの行事が中止となり、生徒が地域に向く機会がほとんどない中、人権プラザ文化祭での人権劇や人権まちづくり講座での発表、D組の地域の方の指導による農園活動など、地域の方々と連携を大切にしてきています。今後も地域との関わりを大切にし、コミュニティ・スクールも活用しながら、生徒の「自分は、保々地区が好きだ」という意識を持たせていきたいと考えています。</li> </ul>
	保護者 通信・たより・ホームページ、電話連絡、家庭訪問、オープンデー、保護者懇談会などによって学校やお子さんの様子がわかりやすい。	3.0				92.1	
	教師 学校は、保護者や地域に学校や子どもの様子を知らせるために適切な取り組みを行い、成果をあげている。	3.6				100	